

環境経営の取り組み

私たちは全ての事業活動において、水と大気と生命(いのち)の惑星、地球の環境にこだわったモノづくりに励みます。

栗本環境基本方針

● 環境経営および継続的な環境保全活動の推進

環境への配慮を企業経営に統合する環境経営という考え方に基いて取り組みます。

クリモトグループに環境マネジメントシステムを展開することにより環境保全活動の継続的改善をはかります。また、クリモトグループの地球環境保全活動に取り組むために環境委員会を機能的に運営し、環境マネジメントシステムの効果的な運用をはかります。

● 法律、規則、協定、行動計画等の順守および環境リスクの排除

環境基本法、環境関連規則、関連行政機関や各種団体・企業との協定および自主行動計画等を順守し、環境汚染防止、環境リスクの排除に努めます。

● 省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、リサイクルにより環境負荷低減の推進

生産活動において不良・仕損等を排除して省エネルギー、省資源活動を推進するとともに、廃棄物の削減と有効利用およびリサイクルにより環境負荷低減の推進に取り組みます。

● 環境負荷低減型製品への移行推進および環境保全機器設備の開発

全製品の原材料調達、生産、流通、使用、廃棄の各段階で環境に対する負荷を最小限にするように配慮します。また、環境保全が可能な機器設備の開発・普及・導入を積極的に推進します。

● 全従業員の環境教育、啓発

環境教育、社内外広報活動を実施し、全従業員の環境への理解と環境問題への意識向上をはかります。

● 社会貢献活動への参加の促進

より良い地球環境の実現をめざし、市民として社会貢献活動への参画・支援に積極的に取り組み、ステークホルダーと環境コミュニケーションをはかります。

環境管理体制

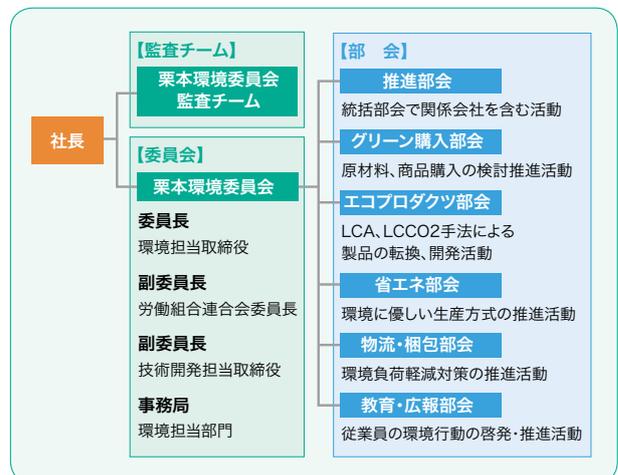
● 栗本環境委員会

私たちは、事業活動において環境への配慮を経営の重要課題のひとつとして捉え、環境担当取締役を委員長とする栗本環境委員会を1998年4月に設置しました。

この委員会は、栗本環境基本方針のもと、事業部・事業所を横断的に結び、地球環境保全活動の推進、環境負荷低減の推進と環境保全機器設備の開発を効果的に行い、持続的発展が可能な社会の構築に貢献することを目的としています。

● 環境委員会組織図

この組織は、審議機関として環境委員会があり、その下部に実行部門として環境部会を設置し、環境自主行動計画を策定して鋭意推進します。また、特徴のひとつとして組織全体を自己チェックするための環境委員会監査チームを委員会と並列して持つことが挙げられます。



環境経営の取り組み

ISO14001 (環境) の取得状況

(2009年7月1日現在)

登録組織	認証	登録日	登録範囲
栗本鐵工所	○	1999.12.3	堺工場
	○	2000.2.10	加賀屋工場、ピー・エス・ティ
	○	1998.3.27	工場として認証
	○	1998.3.20	工場
	○	2001.9.20	交野工場、古河工場
	○	2001.11.9	本社・支社店
栗本建設工業	○	2007.7.21	本支店、現場
栗本商事	○	2004.3.26	本社、東京支店、堺事業所
栗本化成工業	○	2001.11.30	湖東工場、滋賀工場、全事業所
栗本橋梁エンジニアリング	○	1998.3.20	工場

「環境月間」の取り組みについて

● 環境担当取締役のメッセージ

環境担当取締役のメッセージをノーツ全社掲示板に掲示し、全社員に周知しました。

● 環境月間ポスターの掲示

各事業場に環境省のポスターを送付し、環境月間について周知しました。

● 環境アンケートの実施

会社の環境活動と身近な環境問題について、全社員を対象に環境意識の向上・啓発のためにアンケートを実施しました。

● 「GPN (グリーン購入ネットワーク) 500万人グリーン購入一斉行動」キャンペーンへの参加

● CO₂削減/ライトダウンキャンペーンの参加
夏至の日の夜8時から2時間、会社のライトアップ施設や各家庭の明かりを一斉に消灯するキャンペーンに取り組みました。

● エコドライブの実践

社有車および各家庭の自家用車のエコドライブを実践することにより、車から排出される大気汚染物質およびCO₂の削減に取り組みました。

環境社会検定試験 (eco検定) 合格への取り組み

「環境」に対する幅広い知識を持ち、社会の中で率先して環境問題に取り組む“人づくり”、そして環境と経済を両立させた「持続可能」な社会をめざす人材を確保するために、eco検定受験を推進しています。また、受験支援の勉強会を実施しており、目標である3年間で15名を達成しました。今後も継続して取り組みます。

グリーン購入・調達、環境に配慮した輸送

● グリーン購入・調達の推進

原材料、購入品等を調達する際には、環境に配慮したグリーン購入に努めています。企業の環境経営・商品開発を促進するためにグリーン購入ネットワークの情報等を入手して購入しています。

